



鈴っ子

山形市立鈴川小学校 学校だより

令和7年7月14日(月)

臨時号 校長 鈴木 伸治

「言葉」は「言霊」

学校だよりやHPでは、努めて子どもたちのよさ、がんばりを伝えてきましたが、今回は残念ながらお知らせをしなければなりません。「言葉遣い」については、各学級・学年での指導はもとより、全校朝会の校長講話でも話題にし、良い言葉を使うよう、指導を繰り返してきました。

しかし、下のような事案が起きてしまい、私自身の指導力のなさを憂うとともに、どうすれば言葉遣いがよくなるのかと深く思案しました。そこで、このことは「家庭や地域みなさんと問題を共有し、一緒に解決に向かうべきである。」と判断し、今回の臨時学校だよりの発行に至った次第です。

さて、事案は、以下のとおりです。

7/9(水)

- ・教頭が校舎(西昇降口体育館壁面:写真の場所)に落書きがしてあるのを発見。

7/10(木)

- ・落書きの中に、いじめにつながる内容があり、該当学年で聞き取り指導。(しかし、落書きをした子は見つからず)

7/11(金)

- ・全校児童に、各担任が聞き取り。

7/14(月)臨時全校朝会

- ・事態を重くとらえ、臨時の全校朝会を行う。また、いじめ事案と認定し、市教委に報告。
- ・学校だより臨時号を発行し、各家庭・地域と問題を共有、ともに解決を図っていく。



昔から「言葉は言霊(ことだま)」と言われ、発した通りに現実の結果を引き起こす力があると信じられてきました。「良い言葉を使えば良い結果」が、「悪い言葉を使えば悪い結果」がもたらされると考えられてきました。

「死ね」「ウザい」等々、もちろん、すべての子どもたちが残念な言葉を使っているわけではありません。その点をご安心ください。

しかし、先述した言葉が、口癖のようにになっている友だちもいます。その子たちの今後の心配です。子どもだから・・・ではなく、人としてダメなことはダメと指導し続けたいと思いますので、お家の方でも、言葉遣い等が正しくない場面がありましたらご指導願います。

※なお、今回の事案は、市教委へのいじめ報告だけではなく諸関係機関(警察・児童相談所・スクールロイヤー(学校弁護士))等とも連携した対応を考えています。